

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**必ず実行していただく「強制」を示します。**

**してはいけない「禁止」を示します。**

**気をつけていただきたい「注意」を示します。**

### 施工上のご注意

#### 警告

**必ず実行** 取付位置には、壁裏の補強を行ってください。取付強度が不足すると取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。

**禁止** ALO壁には取付けしないでください。取付強度が保てず取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。

#### 注意

**必ず実行**

- 施工前に、輸送による破損がないかご確認ください。
- 壁構造に応じて補強材等で壁の強度を確保してください。
- 作業は必ず二人以上で行ってください。
- タイル・コンクリート壁に取付ける場合は、別途プラグをご用意ください。
- 必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 排水金具の取付ネジは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
- 本品と合わせて使用する水栓は必ず止水栓または元栓(流量調節のできる器具)を取付けた配管に設置してください。
- 施工後は、本書記載の施工後の確認を必ず行ってください。

**禁止** 施工の際、器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えないでください。破損・故障の恐れがあります。

### 使用上のご注意

#### 注意

**禁止**

- 器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損・故障の恐れがあります。
- 器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えないでください。破損・故障の恐れがあります。
- 器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。

### 安全上のご注意(つづき)

#### 使用上のご注意(つづき)

#### 注意

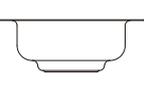
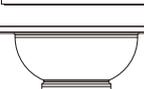


- オーバーフロー機能がありませんので、水を溜めて使用されるときは水があふれないようにご注意ください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。汚れが付着した場合はすぐに水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- 金属たわしやクレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油等は本品を傷めますので使用しないでください。
- 金属類(ヘアピン・カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは使用しないでください。破損の原因となります。

### 製品同梱明細

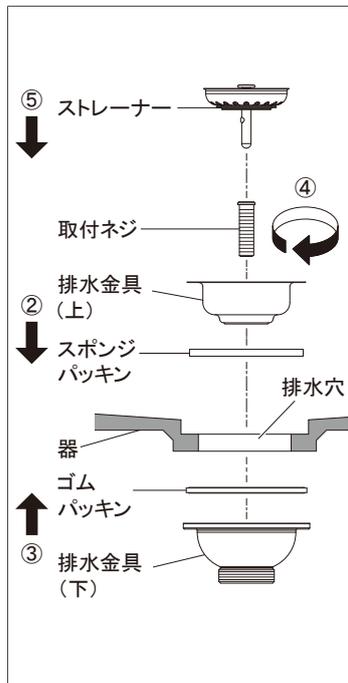
施工前に、下記の同梱部材がそろっているをご確認ください。

器本体・取扱施工説明書に加えて、下記の部材を同梱しています。

バックハンガー	固定金具	固定ビス	ワッシャ
 ×2	 ×2	 ×8 (φ5.8×63ミリ)	 ×4 * 2個は予備
排水金具			
ストレーナー	取付ネジ	排水金具(上) スポンジパッキン	排水金具(下) ゴムパッキン
			

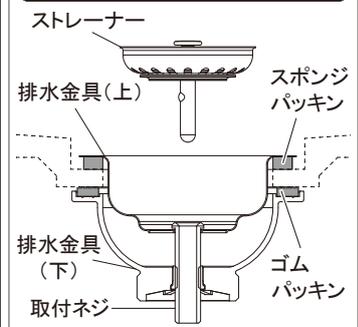
### 施工方法

#### 1. 排水金具を取付けます。



- ①排水金具を「製品同梱明細」を参考に分解します。
- ②器の上から、スポンジパッキン・排水金具(上)を順に排水穴にはめ込みます。
- ③排水金具(下)にゴムパッキンをはめてから、器の下から排水穴に合わせます。
- ④排水金具(下)を押さえながら、器の上から取付ネジを市販の「水栓ドライバー」等で締めます。
- ⑤ストレーナーを取付ネジに挿入します。

#### 取付図



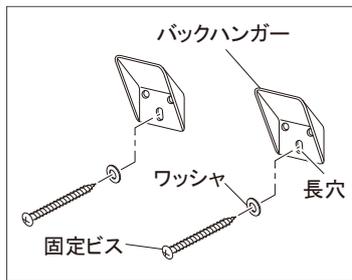
**必ず実行** 排水金具の取付ネジは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

# 施工方法(つづき)

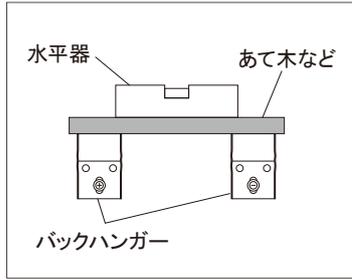
## 2. 器を取付けます。

**必ず実行**

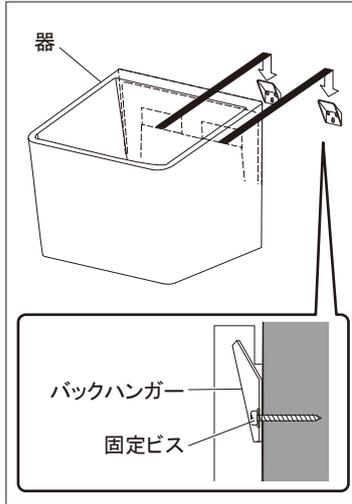
- 固定する位置には、壁の構造に応じた補強を行ってください。
- 作業は必ず二人以上で行ってください。



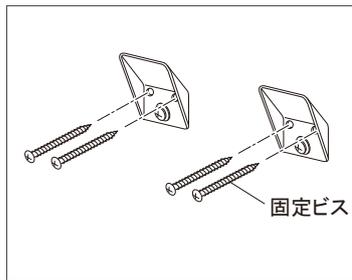
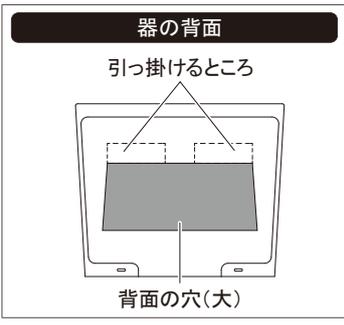
① バックハンガーの長穴に固定ビス・ワッシャを打込んで壁に仮固定します。  
\* 取付位置は器の承認図をご参照ください。  
\* 壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴を開け、プラグ(別売)を打込んでください。



② 水平器を使用して左右が水平になるように位置をあわせませす。



③ 器の背面の穴(大)をバックハンガーに引っ掛け、取付状態を確認します。  
\* 器が水平になっているかご確認ください。傾いている場合は、バックハンガーの長穴で高さ調整を行ってください。



④ 器を外して長穴の固定ビスをしっかりと固定し、残り全ての穴に固定ビスを打込んで本固定します。  
⑤ 器をバックハンガーに引っ掛けて壁に取付けます。  
\* 必要に応じて、「器の取付位置を微調整する場合」を参考に調整を行ってください。

**器の取付位置を微調整する場合**

調整なし

高さを下げたい場合

スペーサー

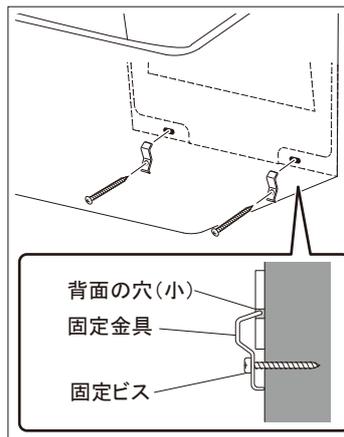
高さを上げたい場合

スペーサー

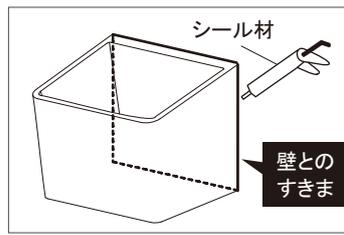
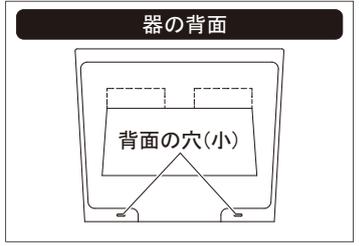
追加で器の取付位置を調整する場合は、固定ビスをゆるめてバックハンガーと壁の間にスペーサー(フリキ板等)をはさんで傾きを調整してください。器の取付位置を下げたい場合は上側、上げたい場合は下側にスペーサーをはさみます。調整後は固定ビスをしっかりと取付けます。

# 施工方法(つづき)

## 2. 器を取付けます。(つづき)



⑥ 器背面の穴(小)に図のように固定金具を引っ掛け、固定ビスでしっかりと固定します。  
\* 壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴を開け、プラグ(別売)を打込んでください。



⑦ 器と壁のすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

## 3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

詳細は器具の説明書をご参照ください。

**注意** 施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態でその場を離れないでください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

## 施工後の確認

### ① 器の取付状態の確認

ガタつきがないか確認します。

### ② 水栓の吐水量の確認・調節

水栓を吐水させ、適正な吐水量が確認します。  
\* 水ハネが激しい場合は、止水栓または元栓を調節してください。  
\* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓または元栓を調節してください。

### ③ 漏水・排水の確認

通水・排水経路の各接続部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認します。  
\* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。

**必ず実行** メンテナンス時等、止水栓または元栓を閉じ、再び開く場合には、水栓の吐水量の確認・調節を必ず行ってください。(施工後の確認②)

## 使用方法

### 水溜め機能の操作方法

ストレーナーを取付ネジに押込むと水が溜まります。ストレーナーを上げると排水します。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124